

No 217

水平筋道 1-9中

DETAIL

2018-JULY

SUMMER ISSUE

MAGAZINE

FOR

ARCHITECTS

AND

ENGINEERS

# ディテール

季刊 - 夏季号  
2018年6月17日発行・両頁(季刊・夏季号)  
※4回(3月、6月、9月、12月17日発行・両頁)  
※9月10日31日第2刷印刷部発注可

# 戦後

特集

# 名住宅の

# 新しい見方

社会を映したディテール  
未来を拓いたディテール



DETAILS UP TO DATE

# ウォータージェット仕上げのPCa外壁

和歌山地方合同庁舎 日建設計 / 渡辺豪秀 + 金子公亮

Wakayama National Government Building by NIKKEN SEKKEI LTD / Takehide WATANABE + Noriaki KANEKO



施工：東急建設

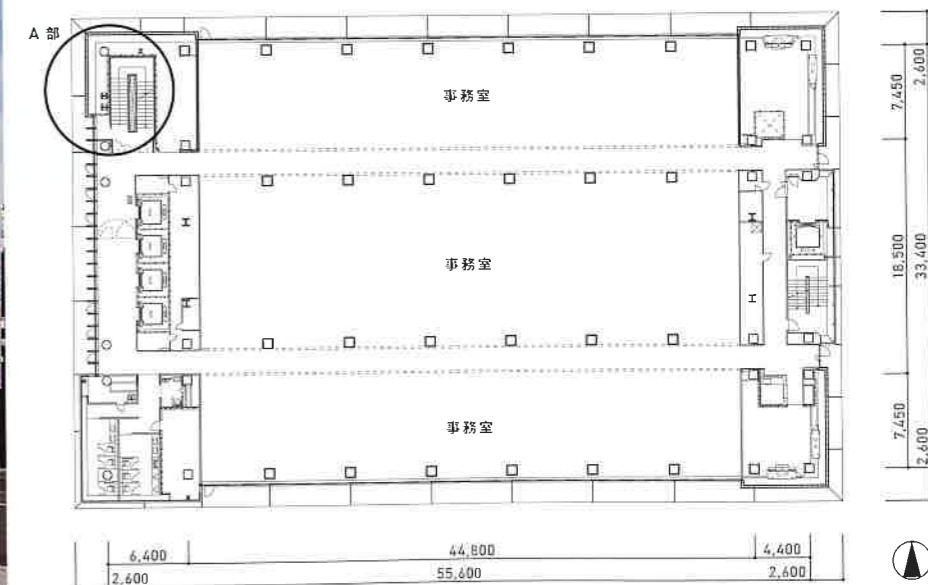
プレキャストコンクリート工事：ダイワ

ハイブリッドヒーリング（ウォータージェット）工事：OSHIROX

竣工：2018年2月

所在：和歌山県和歌山市

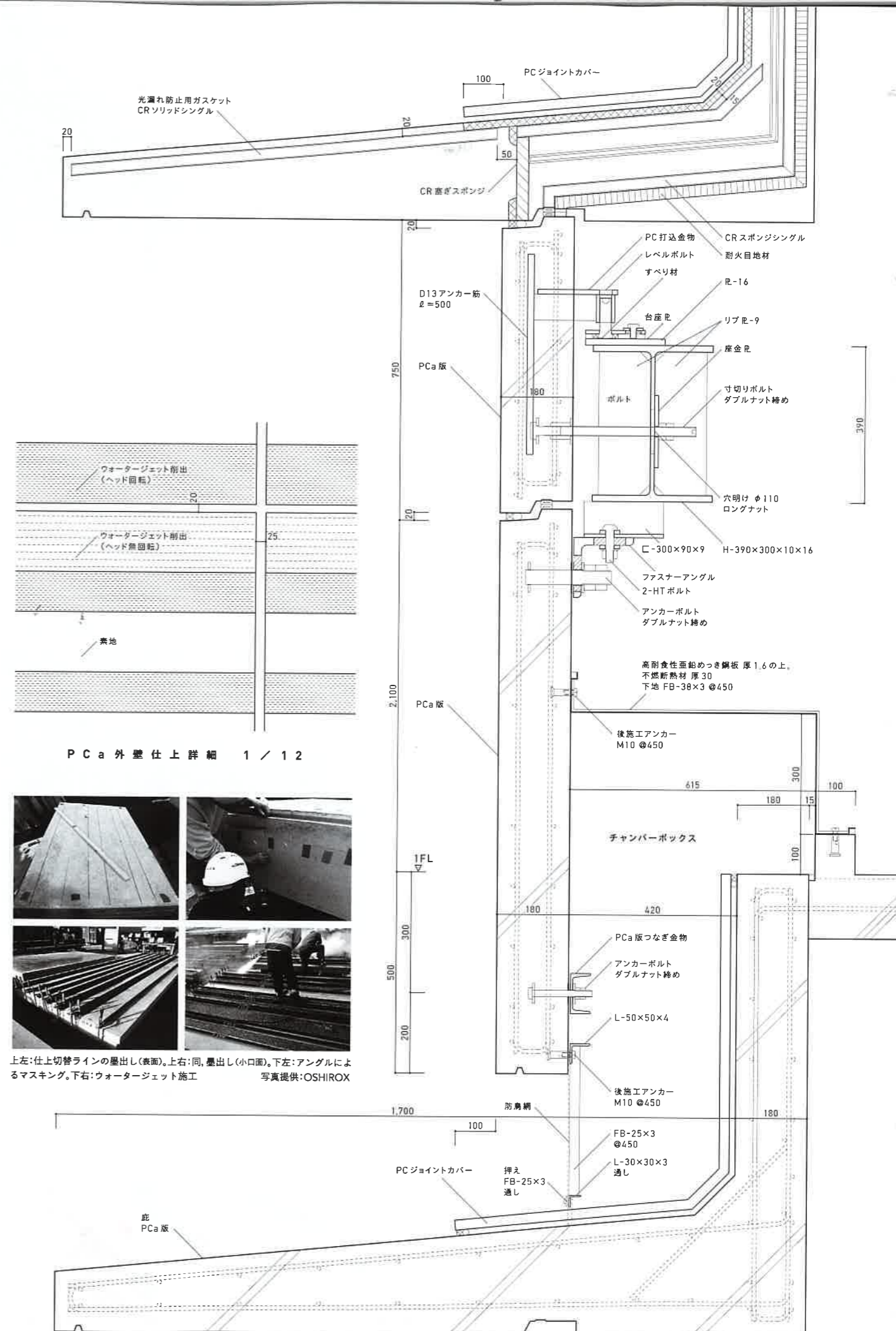
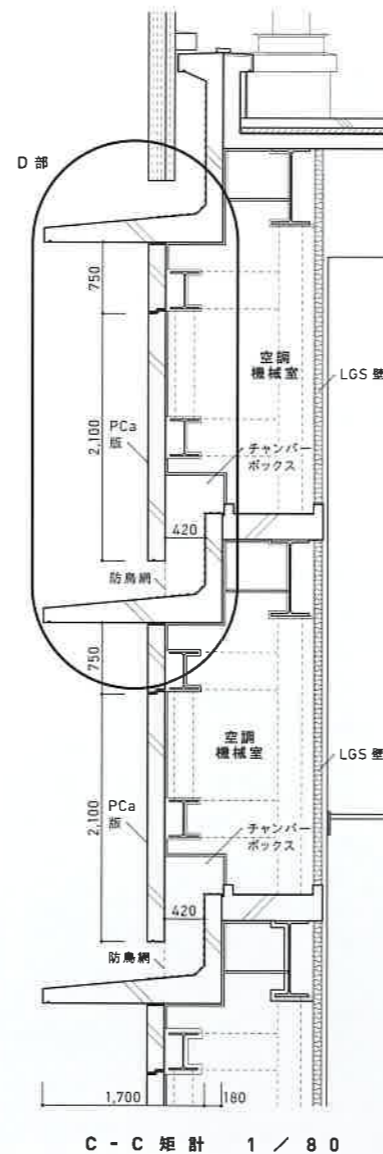
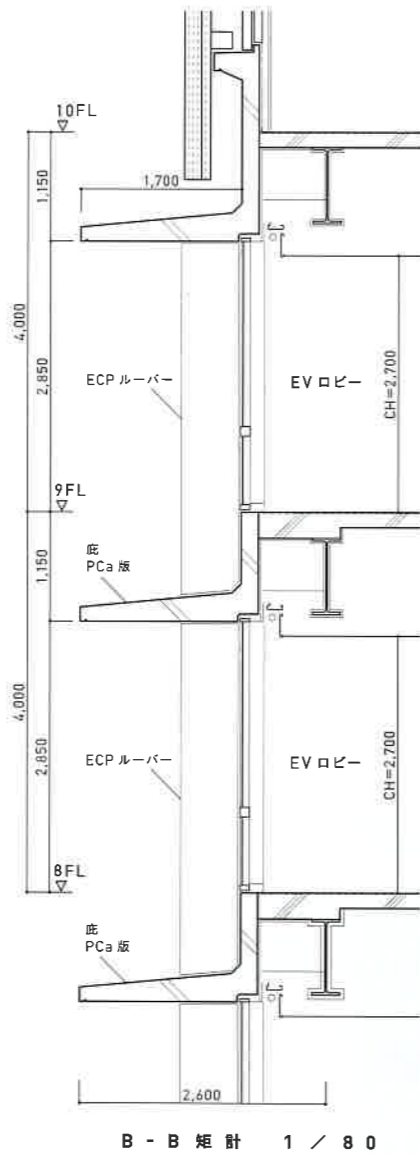
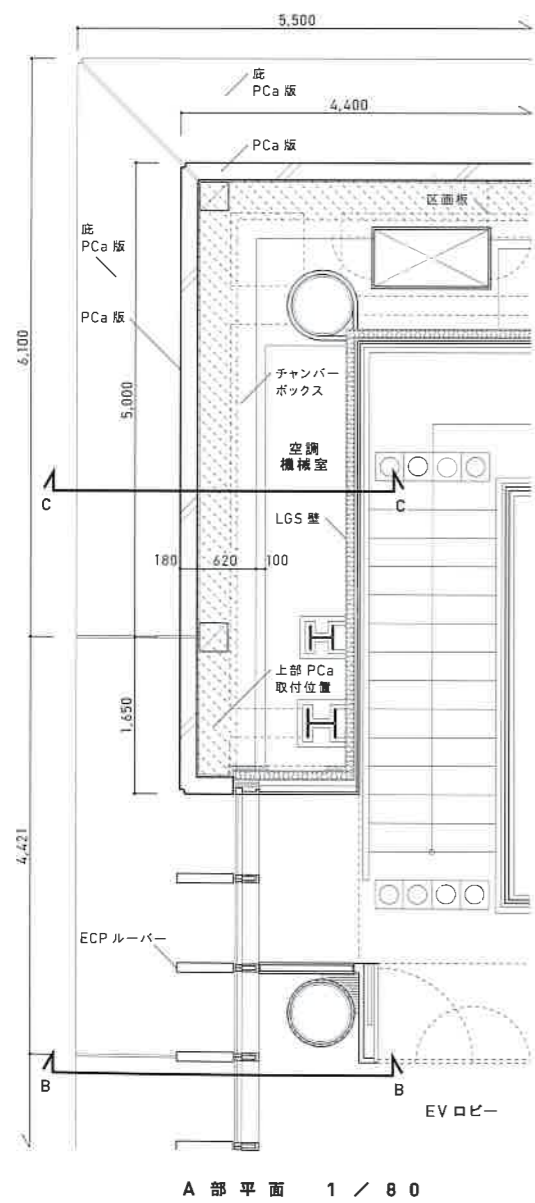
撮影：時空アート



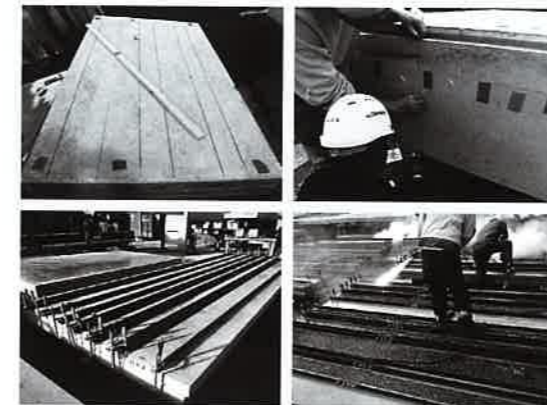
基準階平面 1 / 600



一昔前まではPCaの仕上げといえば吹付けかタイルや石の打込み、最近でも研磨仕上げぐらいのもので、コンクリートの素材感にあふれた仕上げは見あたらなかったが、コンクリートや御影石の切断などに使うウォータージェットでPCaの表面を削って骨材をあらわしにして、あたかもダイナミックな海岸の岩肌の自然な浸食のような趣の仕上げが試みられた。公共案件で予算に限られる中、質実剛健な公共建築を実現したいと考えて、まずPCa版の増打ちをし、標準の骨材を使いながら、ウォータージェットの水圧やヘッドを変えて削出し具合を調整して、荒々しさや奥行き感をもった表情をつくることに成功したという。残問題は種石の剥落だが、超高圧水によりレイタンス層の除去を行い強固なコンクリート面とし、シリカ系含浸保護材で母材強度を上げ、庇を設ける等の万全のデザインで万一の骨材の落下に対処していて、リーズナブルなコストで、今後もいろいろな展開が期待できそうな外壁仕上げではあるまいか。



PCa 外壁仕上詳細 1 / 12



上左:仕上切替ラインの墨出し(表面)。上右:同、墨出し(小口面)。下左:アングルによるマスキング。下右:ウォータージェット施工  
写真提供:OSHIROX